変更契約の内容に関する事項の公表

- (1) 当初契約年月日 令和6年8月19日
(2) 変更契約年月日 令和6年12月6日
(3) 業種 土木一式工事
(4) 件名 綾瀬川緑道整備工事（園路舗装）
- (5) 場所 越谷市大間野町一丁目地内外
- (6) 受注者 株式会社N-CREW
- (7) 受注者住所 埼玉県越谷市越ヶ谷1-15-13
ロイヤルビル201号室
- (8) 履行期間 令和6年8月19日から令和7年1月31日まで
- (9) 契約金額 5,830,000円(税込み)
- (10) 変更金額 160,600円(税込み)
- (11) 変更後の契約金額 5,990,600円(税込み)
- (12) 変更の概要 当初 → 変更後
園路広場整備工：地先境界ブロック（A）123m → 183m

- (13) 変更の理由 施工前における現場詳細測量の結果、堤外側地先境界ブロックの一部において、転倒していることが確認されたことから、追加で撤去・再設置をおこなうこととし、増工とするものです。

変更契約の内容に関する事項の公表

- (1) 当初契約年月日 令和6年10月7日
(2) 変更契約年月日 令和6年12月9日
(3) 業種 舗装工事
(4) 件名 通学路改良工事（市道2120号線外1路線）
(5) 場所 越谷市大字袋山内
(6) 受注者 オザワロード株式会社
(7) 受注者住所 埼玉県越谷市大泊564-2
(8) 履行期間 令和6年10月7日から令和7年2月14日まで
(9) 契約金額 3,025,000円(税込み)
(10) 変更金額 1,010,900円(税込み)
(11) 変更後の契約金額 4,035,900円(税込み)
(12) 変更の概要
舗装工	不陸整正 (M-30 t=平均30mm)	昼間	→	夜間
	表層 (再生密粒度As t=50mm)	昼間	→	夜間
	薄層カラー舗装	昼間	→	夜間
区画線工	熔融式区画線1式	昼間	→	夜間
交通誘導警備員		10人 (昼間)	→	5人 (昼間)
		0人 (夜間)	→	20人 (夜間)
- 当初工期：令和6年10月7日～令和6年12月13日
変更工期：令和6年10月7日～令和7年2月14日
延長日数：63日

- (13) 変更の理由 当施工場所は抜け道になっており、昼間の交通量が多いうえに、道幅が狭く自動車がすれ違えない道路であるため、円滑な交通確保ができないことから、夜間通行止めでの施工へ変更とする。
また、施工時期及び時間帯の調整に伴い、地元と調整した結果、工期内の施工が困難となったため履行期限について延長とする。なお、受注者の責めによらないため損害金は無しとする。

変更契約の内容に関する事項の公表

- (1) 当初契約年月日 令和6年11月12日
(2) 変更契約年月日 令和6年12月10日
(3) 業種 土木一式工事
(4) 件名 道路補修工事（市道1060号線）
- (5) 場所 越谷市大字大杉地内
- (6) 受注者 株式会社三上建設
- (7) 受注者住所 埼玉県越谷市大林471
- (8) 履行期間 令和6年11月12日から令和7年1月24日まで
- (9) 契約金額 1,738,000円(税込み)
(10) 変更金額 286,000円(税込み)
(11) 変更後の契約金額 2,024,000円(税込み)
- (12) 変更の概要 施工延長 L=325.0m W=0.2m
【変更内容】	当初	変更
道路付属物工：車線分離標（H800）	35本	⇒ 41本

- (13) 変更の理由 【変更理由】
道路付属物工（車線分離標設置）について、現況の農道部交差点及び既設水路部を考慮した上で、設置位置を精査した結果、交差点付近及び既設水路付近においても官民境界に段差があることから、歩行者の水路脇（田んぼ側）への転落防止の注意喚起を促進するため、車線分離標の増工を行うものです。

変更契約の内容に関する事項の公表

- (1) 当初契約年月日 令和6年8月26日
(2) 変更契約年月日 令和6年12月11日
(3) 業種 土木一式工事
(4) 件名 道路補修工事（市道80178号線）
- (5) 場所 越谷市相模町二丁目地内
- (6) 受注者 中村土建株式会社
- (7) 受注者住所 埼玉県越谷市蒲生3-2-24
- (8) 履行期間 令和6年8月26日から令和6年12月27日まで
- (9) 契約金額 2,618,000 円(税込み)
(10) 変更金額 46,200 円(税込み)
(11) 変更後の契約金額 2,664,200 円(税込み)
- (12) 変更の概要
【概要】	当初	変更
排水構造物工		
管渠工（VP-150）	2.36m	0m
管渠工（VP-100）	0m	2.90m
舗装工		
上層路盤（t=15cm）	90m ²	106m ²

- (13) 変更の理由
- 排水構造物工について、地権者にて実施した外構工事により民地土間高さが当初設計より高くなったことから、民地との段差を解消するため側溝工の計画高を変更するとともに、道路排水勾配を確保するため起終点付近の路盤工を増工とする。
- また、管渠工について不可視部である既設の暗渠管の寸法が想定される管径と差異を確認したことから、現況に合わせた管径にするため変更する。

変更契約の内容に関する事項の公表

- (1) 当初契約年月日 令和6年2月1日
(2) 変更契約年月日 令和6年12月16日
(3) 業 種 電気工事
(4) 件 名 (仮称)共同消防指令センター建設工事(電気設備)
- (5) 場 所 越谷市大字大泊309番1 外
- (6) 受 注 者 村川電気工業株式会社
- (7) 受 注 者 住 所 埼玉県越谷市レイクタウン2-15-24
- (8) 履 行 期 間 令和6年2月1日 から 令和8年1月30日 まで
(9) 契 約 金 額 130,900,000
(10) 変 更 金 額 金額の変更無し
(11) 変更後の契約金額
(12) 変 更 の 概 要 令和6年度支払額(年割額)の変更

- (13) 変 更 の 理 由 出来高が確定したことにより減額するものです。

(全体の契約金額に変更はありません)
【変更前】
令和5年度 52,360,000円
令和6年度 26,180,000円
令和7年度 52,360,000円
【変更後】
令和5年度 52,360,000円
令和6年度 0円
令和7年度 78,540,000円

変更契約の内容に関する事項の公表

- (1) 当初契約年月日 令和6年2月1日
(2) 変更契約年月日 令和6年12月16日
(3) 業 種 管工事
(4) 件 名 (仮称) 共同消防指令センター建設工事(機械設備)
- (5) 場 所 越谷市大字大泊309番1 外
- (6) 受 注 者 株式会社豊田設備
- (7) 受 注 者 住 所 埼玉県越谷市越ヶ谷2-8-1
- (8) 履 行 期 間 令和6年2月1日 から 令和8年1月30日 まで
(9) 契 約 金 額 115,830,000
(10) 変 更 金 額 金額の変更無し
(11) 変更後の契約金額
(12) 変 更 の 概 要 令和6年度支払額(年割額)の変更

- (13) 変 更 の 理 由 出来高が確定したことにより減額するものです。

(全体の契約金額に変更はありません)

【変更前】

令和5年度 0円

令和6年度 69,490,000円

令和7年度 46,340,000円

【変更後】

令和5年度 0円

令和6年度 0円

令和7年度 115,830,000円

変更契約の内容に関する事項の公表

- (1) 当初契約年月日 令和6年2月1日
(2) 変更契約年月日 令和6年12月16日
(3) 業種 建築一式工事
(4) 件名 (仮称)共同消防指令センター建設工事(建築)
- (5) 場所 越谷市大字大泊309番1外
- (6) 受注者 高元・猪又経常建設共同企業体
代高元建設株式会社
- (7) 受注者住所 埼玉県越谷市御殿町2-11
- (8) 履行期間 令和6年2月1日から令和8年1月30日まで
- (9) 契約金額 858,000,000
(10) 変更金額 金額の変更無し
- (11) 変更後の契約金額 _____
- (12) 変更の概要 令和6年度支払額(年割額)の変更

- (13) 変更の理由 出来高が確定したことにより減額するものです。

(全体の契約金額に変更はありません)
【変更前】
令和5年度 343,200,000円
令和6年度 171,600,000円
令和7年度 343,200,000円
【変更後】
令和5年度 343,200,000円
令和6年度 0円
令和7年度 514,800,000円

変更契約の内容に関する事項の公表

- (1) 当初契約年月日 令和6年10月1日
(2) 変更契約年月日 令和6年12月19日
(3) 業 種 舗装工事
(4) 件 名 道路舗装工事（市道50014号線）
- (5) 場 所 越谷市弥生町地内
- (6) 受 注 者 矢島建設株式会社
- (7) 受 注 者 住 所 埼玉県越谷市袋山1959
- (8) 履 行 期 間 令和6年10月1日 から 令和7年1月31日 まで
- (9) 契 約 金 額 14,223,000 円(税込み)
- (10) 変 更 金 額 1,831,500 円(税込み)
- (11) 変更後の契約金額 16,054,500 円(税込み)
- (12) 変 更 の 概 要
施工延長 L=83.6m→101.5m 幅員 W=7.15m~10.6m→6.0m~9.5m	当初	変更
舗装工：路面切削（t=120mm）	879m ²	995m ²
：路面切削（t=50mm）	0m ²	39m ²
：基層（改質Ⅱ型粗粒度As t=70mm）	879m ²	995m ²
：表層（改質Ⅱ型密粒度As t=50mm）2層舗装	879m ²	1030m ²
：表層（再生密粒度As t=50mm）1層舗装	174m ²	182m ²
区画線工		
：溶融式区画線	一式	一式（増工）
- (13) 変 更 の 理 由 地元より一部施工箇所への延伸の要望があったため起点部の施工箇所を延伸し舗装工及び区間線工について増工するものです。

変更契約の内容に関する事項の公表

- (1) 当初契約年月日 令和6年9月17日
(2) 変更契約年月日 令和6年12月3日
(3) 業 種 補償コンサルタント（登録有） 事業損失部門
(4) 件 名 建物・物件影響調査業務委託6-2
- (5) 場 所 越谷市大字下間久里地内
- (6) 受 注 者 株式会社ヤスナミ測量設計
- (7) 受 注 者 住 所 埼玉県越谷市千間台東2-7-16
- (8) 履 行 期 間 令和6年9月17日 から 令和6年12月20日 まで
(9) 契 約 金 額 3,630,000 円(税込み)
(10) 変 更 金 額 -665,500 円(税込み)
(11) 変更後の契約金額 2,964,500 円(税込み)
(12) 変 更 の 概 要 木造建物A 70㎡未満 0棟→2棟
木造建物A 70㎡以上130㎡未満 2棟→1棟
木造建物A 200㎡以上300㎡未満 1棟→0棟
非木造建物A 200㎡未満 1棟→1棟
附帯工作物等 100㎡未満 1箇所→1箇所
附帯工作物等 100㎡以上300㎡未満 2箇所→2箇所
- (13) 変 更 の 理 由 建物調査について、権利者より建物内部の調査辞退の申し出があり、調査面積に変更が生じたことから、越谷市土木設計業務等委託契約約款第18条第1項第5号の規定により、設計変更するものとする。

変更契約の内容に関する事項の公表

- (1) 当初契約年月日 令和6年6月3日
(2) 変更契約年月日 令和6年12月13日
(3) 業 種 補償コンサルタント（登録有） 事業損失部門
(4) 件 名 建物・物件影響調査業務委託6-1
- (5) 場 所 越谷市大字南荻島地内
- (6) 受 注 者 株式会社ヤスナミ測量設計
- (7) 受 注 者 住 所 埼玉県越谷市千間台東2-7-16
- (8) 履 行 期 間 令和6年6月3日 から 令和6年12月20日 まで
(9) 契 約 金 額 4,510,000 円(税込み)
(10) 変 更 金 額 -1,327,700 円(税込み)
(11) 変更後の契約金額 3,182,300 円(税込み)
(12) 変 更 の 概 要 地盤変動影響事前調査
	当初	変更
木造建物	8棟	6棟
木造建物A 70㎡未満	0棟	2棟
70㎡以上130㎡未満	8棟	4棟
- (13) 変 更 の 理 由 建物調査箇所にて、建物内部の調査辞退及び建替え等により調査が困難となったことから調査箇所に変更が生じました。そのため、越谷市土木設計業務等委託契約約款第18条第1項第5号の規定により設計変更とします。

変更契約の内容に関する事項の公表

- (1) 当初契約年月日 令和6年6月17日
(2) 変更契約年月日 令和6年12月20日
(3) 業 種 建設コンサルタント（登録有） 鋼構造及びコンクリート部門
(4) 件 名 橋梁補修設計業務委託（定使野橋外3橋）
(5) 場 所 越谷市花田二丁目地内外
(6) 受 注 者 復建調査設計株式会社
埼玉事務所
(7) 受 注 者 住 所 埼玉県さいたま市見沼区東大宮2-27-7
-203
(8) 履 行 期 間 令和6年6月17日 から 令和7年3月14日 まで
(9) 契 約 金 額 7,586,700 円(税込み)
(10) 変 更 金 額 -2,020,700 円(税込み)
(11) 変更後の契約金額 5,566,000 円(税込み)
(12) 変 更 の 概 要

	変更前	変更後
6625橋		
補修設計（対策工法の検討含む）	1式	→ 0式
設計図	1式	→ 0式
数量計算	1式	→ 0式
概算工事費算出	1式	→ 0式
施工計画	1式	→ 0式
関係機関との協議資料作成	1式	→ 0式
報告書作成	1式	→ 0式
照査	1式	→ 0式
三野宮橋（橋面防水工）		
補修設計（対策工法の検討含む）	0式	→ 1式
設計図	0式	→ 1式
数量計算	0式	→ 1式
概算工事費算出	0式	→ 1式

- (13) 変 更 の 理 由 6625橋の支持杭（鋼管杭）の照査調査をした結果、鋼管杭の著しい劣化により現況のままでは補修することが困難なことから、既設床版を撤去した上での補修方法または、経済性・維持管理等をふまえた架替（改築）を比較検討する必要があるため、本業務における当該橋梁の補修設計の業務について減工とする。
また、三野宮橋について現地調査をした結果、床版のひび割れの進行およびその箇所からの漏水が確認されたことから、劣化の進行を抑制するために橋面の床版防水工の設計業務について増工とする。